



学園広報誌



No.39

2022年1月18日発行



学校法人 大阪成蹊学園

大阪成蹊大学
びわこ成蹊スポーツ大学
大阪成蹊短期大学
大阪成蹊女子高等学校
こみち幼稚園

■ びわこ成蹊スポーツ大学 ー学長就任のご挨拶ー



びわこ成蹊スポーツ大学

大河 正明 学長

大河正明学長が就任

2021年10月、大河正明新学長が就任しました。就任にあたり、今後の抱負などを伺いました。

【プロフィール】

1958年生まれ。京都府京都市出身。
京都大学法学部卒業後、三菱銀行（現三菱UFJ銀行）入行。2010年、社団法人（現公益社団法人）日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）入局。管理統括本部長、常務理事などを歴任。
リーグの将来構想についても担当しJリーグクラブライセンス制度の導入やJ3リーグ創設に尽力。

2015年、公益財団法人日本バスケットボール協会専務理事、一般社団法人（現・公益社団法人）ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ（Bリーグ）チェアマン就任。バスケット団体2団体の統合をはじめ、リーグ、クラブの経営基盤強化に努めるとともに、事業拡大やガバナンス強化を推進。

2020年、びわこ成蹊スポーツ大学 副学長 兼 大阪成蹊大学 スポーツイノベーション研究所所長。

2021年10月19日より現職。

学長就任の抱負

昨今、スポーツ系大学の学びは従来の体育学などの研究が中心の世界から、よりビジネス面を重視した方向へ発展していかなければならない状況にあります。だからこそ、これまでにサッカー・バスケットボール界でリーグ経営の実務を経験してきた私を指名いただいたのだと思っています。これまで実務で培ってきた経験を活かし、びわこ成蹊スポーツ大学の発展に全力を尽くす覚悟です。

また、大学というものは学生のため、教職員のためはもちろんですが、地域のためにも存在します。2つのリーグの常任理事という他にはない経験と、スポーツ界だけではなく行政にかかわる人たちとの豊富な繋がりを活かして、以前私がリーグで推進した「地域に根差すスポーツクラブ」のように、本学を滋賀、京都、大阪を中心とした「地域に根差すスポーツ大学」に発展させたいと考えています。

びわこ成蹊スポーツ大学の課題

全国でスポーツ関係の学部・学科が増加する中、どのように本学ならではの「色」を出すのが大きなテーマです。

現在、スポーツ産業は社会からの需要が急速に高まりつつあり、競合の増加はその

裏付けでもあります。実際に、日本は現在スポーツ産業のGDPを従来の5兆円から15兆円に増やす取り組みを進めており、これはアメリカやヨーロッパなどのスポーツ先進国におけるGDPの2.5%と同等の基準です。

今後、スポーツ産業では多岐にわたる人材のニーズが高まることが予想されます。業界が大きく成長すれば、プレイヤーだけでなくクラブの運営やコーチング、トレーナーなど、選手や組織をサポートする人材の育成にも力を入れる必要が出てきます。大学として、そんなあらゆるニーズに対応できるよう、スポーツ産業に幅広く貢献できる人材を育成していきたいです。

また本学は、系列校との連携という強みを持っています。大阪成蹊大学では2023年にデータサイエンス学部、看護学部の開設（※）を控えています。データサイエンスや看護はスポーツと非常に親和性の高い分野です。例えば本学の学生が競技に取り組む際の映像データや医学的観点からのデータを取り、活用することもできるかもしれません。大学を横断した学びをおおいに活用し、びわこ成蹊スポーツ大学ならではの特色を出していきたいです。

今後スポーツ産業はどのように発展するか

前述したようにスポーツ産業界では新たな人材の需要が増加する傾向にあります。

例えば、データを活用するスキルのニーズも高まっています。最近では試合に負けたチームが当日の試合データを利用して全体の戦術的な流れから相手チームのプレイの特徴、疲労度などを解析し、翌日の試合でそれを参考にして勝利するという事例も見られるようになりました。

そうしてチームが強くなり、リーグ自体が盛り上がるにつれ、ヘッドコーチだけではなく、作戦コーチやマネージャーに投資できるようになり、アスレチックトレーナー、柔道整復師などのトレーナー系や選手の身体をつくる管理栄養士など、多岐にわたるニーズが生まれます。さらに、人の需要だけではなく、アンダーカテゴリーのチームが生まれ、チームの練習場やスクールもできます。このようにスポーツが盛り上がりれば雇用が次々と創生され、プロのスポーツリーグが増えれば増えるほどこの流れはさらに大きくなります。今、スポーツ業界には多くのチャンスが存在しているのです。

チャンスといえば他にも、現在国が推進している「部活動の地域移行」にも注目が集まっています。これは今まで学校教員が担っていた

部活動指導を学校管理下から外し、「地域の指導者による地域のスポーツ活動」へ移行させるものです。この取り組みにより教員の負担は軽減し、地域のスポーツクラブや大学は活躍の場を広げることができる。本学としてもこうした地域との連携を重視し、まずは滋賀県でよい事例を作りながら、全国に広げていきたいです。

学生へのメッセージ

人生は長いようで短いです。目の前の一つの選択が及ぼす影響は、1ヶ月や1年ごとのスパンではさほど変化を生まないように見えますが、それが数年、数十年の積み重ねとなると大きな差が生まれ、人生が大きく変わります。一つひとつの物事を「明日やろう」と先延ばしにせず、日々実行していく事で未来に確かな差が出てくるのです。

また、個人としてだけではなく、さまざまな立場の人々を取りまとめ、成果に結びつける力を持っていれば、個人では成し得なかった大きな成果をもたらすことができます。

学生の皆さんにはびわこ成蹊スポーツ大学でスポーツを通して自身の課題と向き合い、周囲と協力して成果を生み、人として大きく成長し、スポーツをはじめさまざまな分野で活躍する人材に育っていただきたいです。

※ 仮称・設置構想中。設置計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。

■ 大阪成蹊学園 ー専務理事就任のご挨拶ー

変化の時こそ進化・飛躍の絶好機～たゆまぬ変革の歩みを～

2021年6月に大阪成蹊学園の専務理事を拝命しました竹澤です。私はこれまで一筋に銀行業の世界で生きてまいりましたが、その大半の間、石井理事長にご指導いただいたご縁から、このたび新たな挑戦の機会を戴くことになりました。

銀行員時代は多くを経営企画部門で勉強させていただきました。バブル経済の崩壊に伴う不良債権問題から、関西の地域金融業界が生死を賭けた再編・淘汰の時代におかれる中、私の出身行は早々に業績のV字回復を果たすことができましたが、その最大のポイントはいち早く成長戦略に打って出たことです。もし他の銀行と同じようにリストラー辺倒の縮小均衡戦略に没頭していれば、体力のある銀行との格差は広がるばかりの結果だったでし

よう。環境が悪い時にこそ、新たなステージに躍進するチャンスがあることを実感しました。

さて、ご高承のとおり、学校の経営環境は少子化の進展により厳冬の時代を迎えています。文科省の試算では、2040年の大学進学者数は現在より約20%減の50万人強になると見通されており、今後教育界においても優勝劣敗が鮮明となり、整理・淘汰も避けられない事態になることは必至です。

しかしながら、本学園はそうした時代を展望し10年以上前から一歩先んじて学園改革に着手し、驚くべきスピードで成長を続けています。組織・人材から新学部開設に至る経営態勢の強化、またLCD教育プログラムにより人間力を高める教育を軸とした、学生の皆さんが成長を実感できる教育展開など、全方位的に

断絶的な進化を遂げており、時代を勝ち抜く基礎体力が相当に備わっていると感じます。GEの元CEOジャック・ウェルチ氏は「変革せよ、変革を迫られる前に」と述べていますが、まさにこれを実践しており、今後この改革の歩みを止めないことが何よりも肝要と思います。

着任後、学生・生徒の皆さんが「学校が好きです。楽しい。」と語る言葉を聞いて、新鮮な感動を覚えると同時に、当学園の改革が正しい方向に向かっている証左だと確信しました。学園において、また卒業後の実社会で、学生・生徒の皆さんが自己実現の喜びを数多く経験できる、そんな魅力的な学び舎に大阪成蹊学園が一段と進化できるよう、私も全力を尽くし貢献してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。



学校法人大阪成蹊学園

竹澤 昭任 専務理事

大阪成蹊大学 – 2023年開設予定「データサイエンス学部」教員インタビュー –



データサイエンス＝「人と社会」と対話し、共感を通じて生活を豊かにする実学

人間力を持ったデータサイエンス人材を育成したい

大阪成蹊大学副学長・データサイエンス学部設置準備室長(京都大学名誉教授)
中村 佳正 教授

昨今注目が集まるデータサイエンス。言葉は頻繁に聞いたことがあっても、あまり身近に感じない方も多いかもしれません。データサイエンスとはどのような学問なのか、データサイエンスを学ぶ上で大切なことは何か。また西日本の私立大学で初となる大阪成蹊大学データサイエンス学部(仮称・2023年4月開設予定※)について、中村教授に伺いました。

※仮称・設置構想中。設置計画は予定であり、記事本文に記載の情報も含め、内容に変更が生じる場合があります。

データサイエンスは生活を豊かにするための実学

データサイエンスと聞くと「理系の学問」というイメージを持つ方もいるかもしれません。しかし、データサイエンスは「サイエンス」でありながら、私たちの身近な生活を豊かにする文理融合の「実学」であり、人と社会に関係する全ての領域に活用されています。

たとえば、皆さんがよく目にする台風の進路予測図は、近年AI(人工知能)の力により非常に精度が上がっています。過去の膨大な数の衛星画像データをAIに読み込ませ、画像解析によって似たパターンを抽出することで気象変化を予測する方法があります。たくさんの画像データを高速で処理して似たものを見つける、これはまさにAI、データサイエンスが最も得意とするところです。

もう一つ身近な例を挙げれば、インターネット上の検索履歴や購入履歴などのデータに従って、様々な広告やおすすめの商品の情報が提示される、これもデータサイエンスがビジネスに活用されている代表的な例と言えます。



こういった自然現象やビジネスにおける事例はもちろん、スポーツ・医療・教育・芸術・観光など、あらゆる分野でデータサイエンスは活用されています。つまりデータサイエンスのスキルを学ぶことは、どのような業界でも活躍できる可能性を広げることに繋がります。逆にめざす分野がはっきりと決まっていないう方も、データサイエンスを学ぶ中で様々な分野に触れ、新しい発展を目の当たりにする中で自分が進みたい方向を見つけることもできるでしょう。それはデータサイエンスならではの魅力ですね。

データサイエンスの学びは「人間力」を養った上に積み上げるもの

データサイエンスの基礎には数学や統計学、コンピュータ・ITについての情報学など体系だったサイエンスの学びが一定の割合を占めますが、先ほども言ったようにデータサイエンスは人と社会に関係する実学ですから、社会への高い関心や人としての共感性、周囲の意見をヒアリングして自分の考えを適切に伝えるコミュニケーション力、広い視野で提案を行う俯瞰力、データを扱う上での倫理観など、本学において「人間力」と呼ばれるような素養の部分が非常に重要です。そうした素養が身につけていない上に理系科目の学びを積み上げようとしても消化不良になってしまい、ましてそれを人や社会との対話に活用することはできません。

2023年開設予定のデータサイエンス学部では、人間力の土台を身につけるために、初年次教育からグループ単位で課題に取り組みディスカッションやプレゼンテーションを行う「スタディスキルズ」やアクティブラーニング型の学び「未来クリエーションプロジェクト」を開講する

予定です。データサイエンスを扱う学部でこういった学びを重点的に実践しているところは決して多くありません。中でも企業連携授業においては、大手企業に限らず地域に立脚した中小の企業や自治体とも活発に連携し、新しいデータ活用の提案を行う経験を積んでもらいたいと考えています。

他学部との連携により、大学全体の情報教育力の強化に貢献

クロスオーバー科目などによる他学部との結びつきも重視しています。本学では経営、スポーツ、観光、教育、芸術などデータサイエンスと親和性の高い分野の学びが多く展開されています。データサイエンス人材としてどの分野で活躍していきたいか他学部の学びを通して考えることができる、これは文理融合の総合大学ならではの強みです。

また、他学部の学生にデータサイエンスの学びに親しんでもらえる授業「データサイエンス基礎」と「統計学基礎」を2022年度から開講します。データを扱うスキルはどのような業種でも重宝されますからね。データサイエンス学部の開設を大学全体の情報教育力を強化するための契機にしたいと思っています。

データサイエンスは性別を問わず活躍できる分野。社会のリーダーとなるような女性を輩出したい

データサイエンス学部には多くの女子学生に入学してほしいと考えています。私が以前在籍していた大学の情報学科では女子の割合が10

%を超えたことはありませんでした。現在国内にあるデータサイエンス系の学部では女子の割合は約20～30%前後とこれまでのIT系学部より高い割合になっており、データサイエンスはIT系とは少し違って、身近なところで将来の仕事をイメージしやすいという点が理由としてあるようです。

データサイエンスは今話題のSDGs(持続可能な開発目標)の実現のためのあらゆる課題に貢献すると言われますが、「ジェンダー平等の実現」もその一つ。データサイエンスは性別を問わず活躍できる分野であり、女性の新しいキャリアを切り開く期待の分野です。本学データサイエンス学部が、社会のリーダーとなるような女性のデータサイエンス人材の育成を牽引する存在となることを願っています。

AIを用いた学問でありながら、人間にしかできない仕事

AIが発展すればするほど、世の中のあらゆる仕事がAIに取って代わられるという話をよく耳にしたいと思います。では、AIにできる仕事はAIに任せてしまい、データサイエンス人材がAIを使いこなしたらどうでしょうか。AIによって膨大なデータから人と社会のために役立つ価値＝「宝」を見つけ出すこと、そしてデータを活用した新たなサービスを提案・実現していくこと、これは先に述べた「人間力」を持ったデータサイエンス人材にしかできない仕事です。学生時代でも社会人になった後でも「自分で考えて課題を解決した経験」というのは人生のいつの時代にも残る財産です。データを使った人や社会との対話や共感に興味がある人は、ぜひデータサイエンスという将来性のある新しい学問を学んでください。

大阪成蹊大学

データサイエンス学部開設に先駆けたシンポジウム「データサイエンスへの期待 2021」を開催



大阪成蹊大学では、2023年のデータサイエンス学部開設に先駆け、2021年12月8日(水)に、シンポジウム「データサイエンスへの期待 2021」を開催しました。

近年社会から注目を集めると同時に、高校生の進学選択肢としても関心が高いデータサイエンス。当日は教育委員会の皆様や高等学校の教員の皆様をはじめ、200人を超える教育関係者の方々が集まる中、AI・数理・データサイエンス分野をリードする研究者と企業人が登壇し、データサイエンスと高校教育との関わりや、データサイエンスを巡る世界の動向について講演と活発な討論が行われました。

各セッションのテーマ・登壇者 ※敬称略

司会進行／中村佳正(大阪成蹊大学副学長、データサイエンス学部設置準備室長)

session1 データサイエンスのための情報教育「社会とデータサイエンス教育」

講演者／吉川正俊(京都大学 情報学研究所 教授)

討論者／鎌原淳三(神戸大学 海事科学研究科 准教授)

session2 データサイエンスのための高校数学と統計学「データサイエンスのための統計学」

講演者／上阪彩香(大阪大学 数理・データ科学教育研究センター 特任助教)

講演者／狩野裕(大阪大学 基礎工学研究科 教授)

session3 「人と社会のデータサイエンス」をめざして

①「企業におけるデータサイエンティストに必要なスキルとマインド」

講演者／服部翔大(日本IBM株式会社 IBMコンサルティング・データサイエンティスト)

討論者／小山田耕二(京都大学 学術情報メディアセンター 教授)

②「グローバル人材とデータサイエンス」

講演者／平賀富一

(大阪成蹊大学経営学部教授、国際経済連携推進センター理事、株式会社ニッセイ基礎研究所 客員研究員)

大阪成蹊大学 - 2023年開設予定「看護学部」教員インタビュー -



これからの日本社会で求められる看護職とは

地域の人々の健康を考え、よりよい暮らしに貢献する

大阪成蹊大学副学長・看護学部設置準備室長 星野 明子 教授

少子高齢化や新型コロナウイルスの影響により、日本の医療・看護のあり方は大きく変わりつつあります。これからの社会で看護職に求められるスキルや、看護職をめざす学生が意識すべきこととは何なのでしょう。またそういった変革期の中、2023年に開設を予定する大阪成蹊大学 看護学部(仮称・2023年4月開設予定※)の学びについて、星野教授に伺いました。

※仮称・設置構想中。設置計画は予定であり、記事本文に記載の情報も含め、内容に変更が生じる場合があります。

少子高齢化に伴う 医療システムの変化

近年高齢者人口の急速な増加により医療・介護のニーズの増大が予想される日本では、従来の「病気を持つ人の療養の場=病院」という仕組みが変わりつつあります。最近では手術で入院しても1、2週間で退院となることがほとんどですが、中には入院によって筋力が低下したり食生活が変わったり、もっと医療的なケアが必要な状態で自宅に戻ってくる場合もあります。そうすると、退院後に本人やご家族が在宅で何に気を付けて暮らせばよいのかのアドバイスや日々のサポートをするための人と仕組みが必要になります。

こうした退院後のケアに限らず、病院への入院・通院に頼りすぎる体制から抜け出して、高齢者や病気を抱えて暮らす方々が「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられること」が重要であるという考え方のもとに、システムの整備が進んでいます。これは人々の生活の質をより良いものにすることにも繋がる取り組みなのです。

「地域包括ケアシステム」と 「多職種連携」

ここで覚えていただきたいのが、「地域包括ケアシステム」と「多職種連携」という2つの言葉です。厚生労働省では2025年を目途に、それぞれの地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体となって確保される体制を構築することをめざしており、これが「地域包括ケアシステム」と呼ばれているものです。ここでいう「地域」は、約30分以内に必要なサービスが提供される中学校区くらいの生活圏域を想定します。その中で病院の医師や看護師、自治体の保健師、訪問看護ステーションの看護師、介護福祉士、ケアマネジャー、薬剤師、管理栄養士など、様々な職種のスタッフが情報共有しながら互いに連携し、患者の状況に対応した医療やサポートを提供します。これを「多職種連携」と呼びます。最近で言うところ、新型コロナウイルスに感染して在宅療養をしている方の自宅に医師や看護師が訪問する様子や、保健師が感染の対応にあたる様子をテレビで見た方もいると思います。

コロナ禍はまさに多職種連携の重要性を改めて実感する機会だったと言えます。

こうした背景から、看護職の活躍の場や求められる能力も多様化しています。病院で働く看護師も、地域全体の暮らしを意識し、病棟に入院している患者さんだけではなく在宅で療養されている方、今現在健康である方やその家族も含めて、広い視野で見ることが求められつつあるのです。

時代のニーズに応え、 変化する看護教育

社会における看護ニーズの変化に合わせ、看護教育も変容しています。2020年10月に「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」および「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」が一部改正され、2022年度入学生から改正カリキュラムが適用予定です。たとえば「在宅看護論」という科目は「地域・在宅看護論」に名称変更され、看護の対象や療養の場の多様化に対応できるよう内容が見直されました。この点を踏まえても、2023年という時期に新たにカリキュラムを作り、看護学部を開設できるのは良いタイミングだと感じます。

大阪成蹊大学 看護学部が重視する学び

大阪成蹊大学看護学部では時代のニーズに応え、これからの日本の看護の現場で求められる人材を育成する学びを展開します。本学オリジナルの「地域健康探索プログラム」では、4年間を通じて地域医療の核を担う看護職に必要な力を培います。1年次にフィールドワークを通じて近隣地域の医療の現状や、そこで暮らす様々な世代の健康課題について実際に目で見て肌で触れて考察します。普段自分が暮らしている地域であっても、そこでお年寄りから子どもまで様々なライフステージの方がどのような環境で暮らしているかを意識することはあまりないかもしれません。そこを呼び起こして掘り下げることがねらいです。2年次以降も

そうした地域の探索・調査を行いながら実習に取り組むことで、4年生になる頃には、生活者一人ひとりの課題に応える看護について自分なりの答えを見つけられるように学びます。大阪成蹊大学はアクティブラーニングが徹底されていますから、グループワークやプレゼンテーションも活発に行いながら探求を深めてもらいたいと考えています。

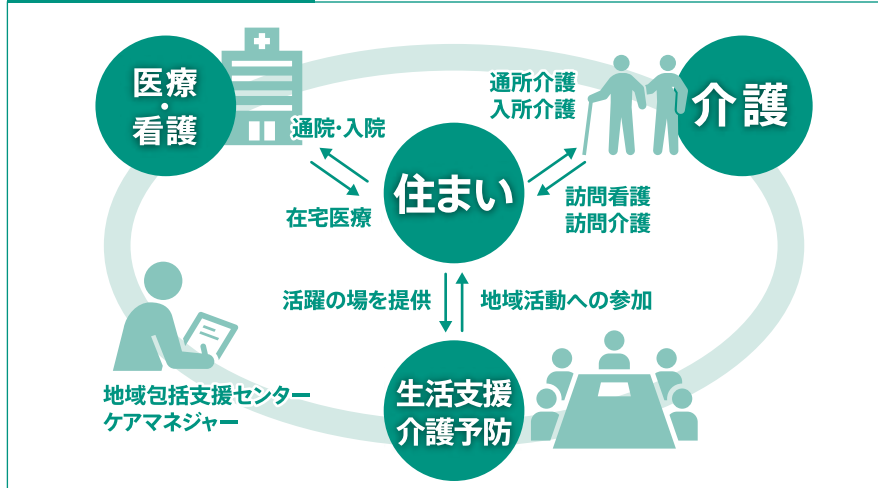
地域包括ケアシステムは看護を学ぶ上でのアドバンス編として扱われがちですが、本学看護学部では、看護の知識や技術を学ぶどのステージにおいても「人」や「地域」への理解を深めながら学ぶことを重視しています。

どこで働くとしても、 地域に目を向けられる視野と 豊かな人間性を身につけてほしい

看護職をめざす学生・生徒の方の中には、今回お伝えした地域包括ケアシステムや多職種連携についてまだイメージしにくい方も多いのではないかと思いますので、これからその重要性を伝えていくのが我々看護教員の役目です。将来、病院の看護師になるにしても、訪問看護師になるにしても、保健師になるにしても、病院など特定の場所を訪れる人だけでなく地域全体の暮らしを見据えながら目の前の仕事に取り組むこと、加えてあらゆる職種の人々の専門性を理解し協働できる視野を持つこと、そのための素養を備えた看護職を育成したいと思っています。もちろん卒業していきなり地域包括ケアシステムの枠組みの中で一人の看護職として機能していくのは難しいでしょう。しかし将来的にそうなるためには、学生のうちから幅広い知識と視野、豊かな人間性と倫理観を養っておくことが重要です。

看護の仕事は大変なことも多いですが、様々な人の人生に身を重ねて並んで歩くことのできる、非常に面白くやりがいのある仕事です。「人の役に立ちたい」「社会の役に立ちたい」「病気や障害を持って暮らす人の助けになりたい」という想いを、ぜひ一生ものの仕事に繋げてほしいと思います。

「地域包括ケアシステム」とは



大阪成蹊大学

「国連世界観光機関」主催の学生リーグで 155チーム中18位に

経営学部国際観光ビジネス学科の学生チームが、世界の観光分野における主導的な機関である「国連世界観光機関 (UNWTO)」が主催した「2021グローバルUNWTO学生リーグ大会 (The 2021 Global UNWTO Student's League Competition)」に出場しました。

この大会は、持続可能な観光の実践に向け、観光産業におけるプラスチックゴミの削減や観光による地方創生などに関するアイデアを世界の学生から募集するもので、世界中から集まった1000人以上の応募者の中から、本学の学生チームを含む155チームがアイデアを発表する機会を与えられました。

国際観光ビジネス学科の服部麻唯さん(4年)、原田理沙さん(4年)、ベトナムからの留学生であるヴー ホアン リンさん(4年)、チャン ティ タン スアンさん(3年)、ヴォ ティ ゴック アインさん(3年)の5名は、地産地消を推進して商品包装に使われるプラスチック量を削減するという視点や、プラスチックの収集業務を仕事化する視点などについて英語で提案を行い、SDGsへの貢献度や実現可能性の基準から審査が行われる中、見事予選を勝ち抜き最終選考に進出し、18位という好成績をおさめました。



▲チャン ティ タン スアンさん(前列左)、ヴォ ティ ゴック アインさん(前列右)、服部麻唯さん(後列左)、原田理沙さん(後列中)、ヴー ホアン リンさん(後列右)



▲学生が英語で作成した提案書の一部

大阪成蹊短期大学

「大学コンソーシアム大阪」主催の 英語プレゼンテーションコンテストで3位入賞

グローバルコミュニケーション学科の学生チームが、2021年11月28日(日)に行われた「学生英語プレゼンテーションコンテスト2021」(大学コンソーシアム大阪主催)に出場しました。

プレゼンテーションのテーマは「アフターコロナをきっかけに大阪の学生が取り組むことのできる、SDGsに沿った社会課題の解決策」というもの。大会には8大学12チームが参加し、短期大学からの出場は本学のみという中で、濱田礼さん・竹内草太さん・山邊妃愛さん(全て2年)の3名からなるチームは見事3位に入賞しました。(1位:大阪府立大学、2位:大阪大学、3位:大阪成蹊短期大学)



左から山邊妃愛さん、濱田礼さん、竹内草太さん▶

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

学びの成果を発表！ 学内コンペティション続々開催

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学では、学生が日頃の学びの成果を発表するための様々なコンペティションや大会を開催しています。

2021年9月から12月にかけて「第5回大阪成蹊カッププレゼンテーション大会」「第5回めざせMaestro!大阪成蹊学園ピアノコンペティション」「第4回英語プレゼンテーション/暗誦大会」の3つが相川キャンパスで行われました。

大阪成蹊カップ プレゼンテーション大会

※大阪成蹊大学のみ



授業内で企業に提案した企画を、
学部の垣根を越えて広くプレゼン

最優秀賞(同率1位2チーム)



【芸術学部 造形芸術学科 マンガ・デジタルアートコース2年】
石崎篤士さん、上津鈴華さん、鐘ヶ江美咲さん、小林美沙さん、
塩満大暉さん、藤堂美咲さん、堀和夏さん、山崎はる香さん



【芸術学部 造形芸術学科 テキスタイル・ファッションデザインコース2年】
北山怜奈さん、柴野真梨子さん、服部春香さん、
松田彩七さん、松本紗弥さん、宮本千優さん、森川航さん

提携先企業: 共にサラヤ株式会社

※写真は表彰式に参加した学生のみ

大阪成蹊学園ピアノ コンペティション



大学と短期大学の教育・保育者をめざす
学生たちが日頃の練習成果を競う

最優秀賞受賞



「ピアノMaestro部門」第1位・理事長賞 受賞
大阪成蹊大学 教育学部教育学科初等教育コース2年 橘川玲奈さん(左)

「弾き歌いMaestro部門」第1位・短大学長賞 受賞
大阪成蹊短期大学 幼児教育学科2年 安部菜月さん(右)

英語プレゼンテーション /暗誦大会



テーマに沿って自分の意見を
英語でスピーチ

優勝



「暗誦部門」第1位
大阪成蹊短期大学 栄養学科1年 武智陽菜さん(中央)
「プレゼンテーション部門」第1位
大阪成蹊大学 経営学部国際観光ビジネス学科観光ビジネスコース2年
横山颯さん(右)
大阪成蹊大学 教育学部教育学科英語教育コース2年 前田実夢さん(左)

大阪成蹊大学 芸術学部

芸術学部の学生の作品が朝日広告賞で入選

芸術学部造形芸術学科ビジュアルデザインコース3年生の山矢由依さんの作品が、「2020年度第69回朝日広告賞(一般公募の部)」で入選を果たしました。

朝日広告賞では、実際に新聞紙面に掲載された広告を対象とする「広告主参加の部」と、若きクリエイターが腕を競う「一般公募の部」の各部門で作品を募集し、各界を代表する審査委員により審査が行われます。山矢さんは今回、大手菓子メーカー・ロッテの「『お口の恋人』をテーマにした企業広告」という課題に挑戦。「お口の恋人」というロッテのキャッチコピーから思いついたという「わたし、恋人をなべちゃったわ」という斬新なコピーとイラストで、温かみとユーモアのある広告に仕上げました。



▲山矢さん



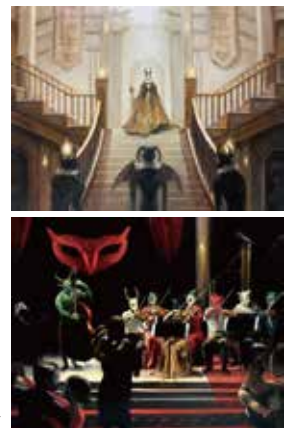
▲山矢さんの作品

芸術学部の教員・学生が 映画「マスカレード・ナイト」制作に参加

芸術学部学部長の糸曾賢志教授、同学部造形芸術学科イラストレーション・美術コースの唐仁原希講師、同コース4年生の金原早梨さんが、2021年9月に公開された映画「マスカレード・ナイト」の制作の一部を担当しました。

ベストセラー作家・東野圭吾の作品を木村拓哉・長澤まさみ主演で実写化し、興行収入46.4億円の大ヒットを記録した前作「マスカレード・ホテル」の続編として制作された本作品。糸曾教授は劇中のアニメーションとCG映像に携わり、唐仁原講師はエンディングのスタッフロール映像で使用される絵画(劇中の名場面を絵画調にアレンジしたもの)を制作し、金原さんは絵画制作のアシスタントとして参加しました。

唐仁原講師が制作した絵画の一例▶



▲糸曾教授がCG映像を担当したシーン

大阪成蹊短期大学

社会で活躍する 卒業生インタビュー

様々な業界で活躍する大阪成蹊短期大学の卒業生の方々に、お仕事や学生時代の学び、後輩へのメッセージについて伺いました。

どのような環境でも常に前向きに。 お客様の立場に立って考える



大阪成蹊短期大学 観光学科 2020年3月卒業
中前璃音さん (ANA関西空港株式会社 勤務)

——これまでのお仕事について教えてください。

子どもの頃出会ったグランドスタッフの方に憧れたこと、また「空港」という場所で働きたいという思いからこの仕事をめざしました。2020年4月に国際線担当として関西空港に入社しましたが、1年間は新型コロナウイルスの影響で便が増えず、なかなか現場に立つことができませんでした。2021年からは国内線担当としてカウンターでのチェックイン業務や搭乗口での出発案内業務にあたりました。その後7月に那覇空港に出向となり、現在は那覇空港で同様の業務を担っています。日々たくさんのお客様と接する中で「ありがとう」や、「お姉さんの頑張っている姿を見て自分も仕事を頑張ろうと思った」など励ましの声をかけていただくことも多く、やりがいを感じます。

——お仕事で心がけていることを教えてください。

便の遅延・欠航などお客様をお待たせする際には、今何に時間を要しているのか、あとどれくらいかかりそうなのかをきちんとお伝えし、心からおわびを伝えるようにしています。はじめの頃は業務に必死でお客様をただお待たせして不安な気持ちにさせてしまったこともあったので、常にお客様の立場になって考えることを大切にしています。

また那覇空港は外国籍のお客様や観光目的のお客様が多いため、英語でのコミュニケーションも含め、より丁寧に案内を行っています。どのような状況

でも「笑顔・笑声・丁寧」を意識した接客を心がけています。

——コロナ禍による仕事への影響はありましたか。

国際線から国内線、そして沖縄出向と、入社後1年半の間に環境がめまぐるしく変わったことです。しかし、各所で関わる人たちはとても素敵な方ばかりで、どの場所でも楽しく業務に取り組んでいることが幸せです。逆にコロナ禍の影響が無ければ出会っていなかった仲間や先輩、そして経験に関しては誇らしく感じています。常に今置かれている環境の中で前向きに過ごしたいと思っています。

——大阪成蹊短期大学 観光学科について

航空業界に加えホテル業界や旅行業界、一般事務など様々な業種を広い視野でめざすことができる学科でした。様々な業界について学んだからこそ、改めて航空業界で働きたいという強い想いを持って後悔なく進めたと思います。先生方との距離も近く、勉強や就職活動だけでなくその他多岐にわたる相談にもって頂けるあたたかい環境でした。また社会人としてのマナーや言葉遣い、英語に関する学びが手厚かったことも、現在の業務でとても役に立っています。

在学生の皆さんにも、大阪成蹊短期大学で悔いのない学生生活を送ってほしいと思います。

——これまでのお仕事について教えてください。

私は1年目で3歳児クラスの担任を担当しました。1年目から担任ということで不安もありましたが、担任になったからこそ、子どもたちと向き合っている自分の裁量で保育計画を立てて進めていけるやりがいと楽しさを感じることができました。2年目の今は5歳児クラスの担任をつとめています。

——保育で心がけていることを教えてください。

一人ひとりの子どもの個性を見つけて伸ばすことを大事にしたいと思っていて、そのための保育を積極的に取り入れています。ある日の保育で、「もし妖精がいたら叶えてほしい夢」を絵で表現してもらうことにしました。「警察官になりたい」「お金持ちになりたい」といったものから、「大きなプリンが食べたい」といったものまで様々で、一人ひとり内容が異なるため子どもたちそれぞれのカラーを感じることができ、子どもたちが考えていることをよく知るきっかけにもなりました。

またこうした描画や工作などを行う際も、私が教えるばかりではなく、できるだけ子ども同士でコミュニケーションをとりながら得意なことと苦手なことを補い合えるような空間作りも意識しています。

——コロナ禍による仕事への影響はありましたか。

休園や行事の中止・延期などへの対応もあり大変でしたが、去年の春に休園になった際は教員が

工作を行う様子を動画に撮って配信するなど、子どもたちのためにできる範囲で工夫しました。またマスクをしていると子どもたちに表情が伝わりにくいため、目と眉で少しオーバーに表現するよう心がけています。

——大阪成蹊短期大学 幼児教育学科について

ピアノ教育に力を入れていることや実習が充実していること、先輩や先生方が良い人ばかりだったことが決め手になって入学しました。授業では現場の方の体験談に触れる機会がとて多く、そこで得た知識や考え方は今も役に立っています。

幼児教育学科はクラス制で受ける授業も一緒なのでとても仲良くなれて楽しかったです。学科の友人とは今も連絡を取り合っています。皆同じ業界で働いているので、仕事の相談もできるのが心強いですね。

——後輩の皆さんにメッセージをお願いします。

保育の仕事は大変なイメージが強いかもしれませんが、私の場合は子どもたちの可愛さが大変さをはるかに上回っています。園によって担任が自分で決められる保育内容の範囲も異なるので、自分がどんな保育をしたいのかじっくり考えて園を選ぶとよいと思います。ピアノのレパートリーを増やしておくこともおすすめです。童謡や手遊び歌ももちろんですが、最近のJ-POPやアニソンをワンフレーズだけでも弾けると喜ばれますよ。

一人ひとりの子どもの個性を 伸ばせる保育がしたい



大阪成蹊短期大学 幼児教育学科 2020年3月卒業
小野結衣花さん (岡辻学園山手幼稚園 勤務)

大阪成蹊大学

相川駅前新キャンパスの 建設工事が着工

2021年秋、阪急相川駅前の新キャンパス予定地において、新校舎の建設工事が着工しました。新校舎は、総床面積約9,500㎡、鉄筋コンクリート造り8階建て・総レンガタイルの外壁の重厚感ある建物となる予定です。1階には図書館やラーニングcommons、2階から7階には2023年開設予定の看護学部(※)・データサイエンス学部(※)のための設備を含む教室や実習室、研究室、8階には食堂、そして建物の西側には、オーケストラによる演奏会や各種シンポジウムなどの開催も可能な多目的ホールを整備していきます。

※新キャンパスおよび学部の開設はいずれも構想中・申請予定のものであり、変更の場合があります。



新校舎 完成イメージ

2021年10月14日(木)に行われた地鎮祭の様子

大阪成蹊女子高等学校

2年生の修学旅行を実施



大阪成蹊女子高等学校では例年2年次に海外での修学旅行を実施していますが、新型コロナウイルスの影響で2020年度は中止となっていました。2021年度は、12月に行き先を国内に変更して実施することができました。(美術科は瀬戸内、普通科は沖縄県)

▼美術科、直島ベネッセハウスにて



普通科、沖縄県海水族館にて▶



クラブ・アスリートTOPICS

大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学

東京オリンピックの舞台で健闘!



女子陸上競技部 齋藤愛美選手 女子4×100mリレー出場

共に走り抜いたメンバーと(左から1走:青山華依選手、2走:兒玉芽生選手、3走:齋藤愛美選手、4走:鶴田玲美選手)

2021年8月5日(木)に行われた東京オリンピック陸上競技「女子4×100mリレー」に、大阪成蹊大学女子陸上競技部の齋藤愛美選手(経営学部スポーツマネジメント学科4年)が日本代表として出場しました。

齋藤選手は第3走者として懸命に前のチームを追いかけバトンをアンカーにつなぎました。結果は43秒44・予選1組7着で、4×100mリレー日本代表チームとしてはシーズンベストを更新。日本記録に迫る日本歴代2位のタイムを記録し、大いに健闘しました。齋藤選手は競技後、「(バトンは)ちょっと詰まってしまったんですけど、チームワークの良さが自分たちの強みだったのでそれが達成できてよかったです」と語りました。



▲バトンパスの瞬間(左から4番目が齋藤選手)
※写真提供:月刊陸上競技



OB・丸尾知司選手 50km競歩出場

2021年8月6日(金)に行われた東京オリンピック陸上競技「男子50km競歩」に、びわこ成蹊スポーツ大学卒業生の丸尾知司選手(愛知製鋼)が日本代表として出場しました。

酷暑の中、粘りに粘って4時間6分44秒というタイムで完歩し、32位という結果を残した丸尾選手は、レース後のインタビューで「ゴールできたのはたくさんの方々のおかげ。大会ができたのもたくさんの方々のおかげで、本当に結果が残せなかったことが情けないですけど、感謝の気持ちで一杯です。結果を受け止めて、自分の弱さを認めてそこに立ち向かっていきたい」と語りました。



大阪成蹊大学

卓球部／皆川優香選手が関西学生選手権で優勝、全国大会で健闘



2021年8月11日(水)に開催された「令和3年度第90回関西学生卓球選手権大会(個人の部)」において、卓球部の皆川優香選手(2年)が女子シングルスで見事優勝しました。その結果、10月28日(木)～10月31日(日)に開催された「第87回全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部」に出場。準優勝の選手に惜しくも敗れましたが、ベスト16と健闘しました。

2021年9月1日(水)～9月22日(水)に開催された「2021年度関西学生バドミントン秋季リーグ戦大会」にバドミントン部が出場し、男子が2部リーグで優勝・入れ替え戦に勝利して見事1部昇格を果たすと同時に、女子も4位と健闘しました。この結果、男子は10月15日(金)～10月21日(木)に開催された「第72回全日本学生バドミントン選手権大会」にも男子団体として出場しましたが、惜しくも初戦敗退となりました。インカレには清水晃希選手(4年)(男子シングルス)と竹澤実咲選手(4年)・熊野葉月選手(3年)ペア(女子ダブルス)も出場しました。

バドミントン部／ 男子が1部昇格!インカレ出場



職員／青山聖佳選手が 実業団・学生対抗陸上競技大会で2冠達成



▲左から2番目が青山選手 ※写真提供:月刊陸上競技

2021年7月17日(土)に開催された「2021オールスターナイト陸上第61回実業団・学生対抗陸上競技大会」に本学職員の青山聖佳選手が出場し、女子400mにおいて53秒20の大会新記録で優勝しました。また女子100+200+300+400mリレーでも2分05秒59の日本最高記録・大会新記録で優勝し、見事2冠を達成。最優秀選手賞も受賞するなど、大いに活躍しました。

びわこ成蹊スポーツ大学

バレーボール部／ 滋賀県成年男子強化拠点チームとして強化活動をスタート

男子バレーボール部が滋賀県バレーボール協会からの推薦を受け、2021年7月に滋賀県成年男子の強化チームとなりました。今後は、2025年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会に向けて、県競技力向上対策本部の支援を受けながら強化活動に取り組んでいます。



大阪成蹊学園

チアダンス部／ 高校チームが全国大会出場

2021年11月13日(土)に開催された「令和3年度ダンスドリル秋季競技大会 関西大会」に学園チアダンス部(高校チーム)が「高等学校SONG/POM部門 Small編成」に出場し、見事2022年1月に行われる全国大会への切符をつかみました。



コーラス部・吹奏楽部 第9回大阪成蹊学園コンサート

音楽の贈りもの ～Music Festival～ 開催

2021年11月6日(土)に「第9回大阪成蹊学園コンサート 音楽の贈り物～Music Festival～」が豊中市立文化芸術センターで開催され、大阪成蹊大学・短期大学および大阪成蹊女子

高等学校のコーラス部、吹奏楽部の4団体が出演し、「前進」というコンセプトのもと選曲された多彩なプログラムを演奏しました。ホールの入場制限によりたくさんの方に現地で鑑賞していただくことは叶いませんでしたが、ライブ配信・アーカイブ配信を行い、コロナ禍の中で懸命に練習した学生・生徒たちの成果をお届けしました。また2021年9月～10月に開催された「第76回関西合唱コンクール」では、大学職場一般部門で大学・短期大学コーラス部が銀賞を受賞、中学校部門・高等学校部門で高校コーラス部が銀賞を受賞しています。



大阪成蹊女子高等学校 コーラス部



大阪成蹊女子高等学校 吹奏楽部



大阪成蹊大学・短期大学 吹奏楽部



大阪成蹊大学・短期大学 コーラス部

大阪成蹊大学

「スポーツイノベーションアカデミー第2期」フィールドワークを含む全ての講座を終了

大阪成蹊大学スポーツイノベーション研究所が主催する公開講座「スポーツイノベーションアカデミー第2期」(共催:株式会社セレッソ大阪)では、2021年9月～12月にかけて、全7回の講義と2度のフィールドワークを無事終了しました。ここではフィールドワークの様態をお届けします。

2021年10月24日(日)、1回目のフィールドワークがセレッソ大阪のホームスタジアム「ヨドコウ桜スタジアム」で行われました。当日は株式会社セレッソ大阪社長であり、びわこ成蹊スポーツ大学客員教授の森島寛晃氏の挨拶の後、同社の片倉庄一氏の案内のもとスタジアムの見学が行われました。施設の紹介をはじめ、スタジアム内に掲示



スタジアム見学の様子

される広告、試合にファンを迎え入れる体制、選手のスタジアム入りまでの流れなど多岐にわたる解説に受講者の方々は興味深く聞き入っていました。その後観戦した試合ではびわこ成蹊スポーツ大学卒業生である松田陸選手・力選手兄弟もそろって出場し、セレッソが2-1で横浜Fマリノスに勝利しました。



受講者の皆様と森島寛晃氏(前列中央)、大河学長(前列右から2番目)

11月14日(日)の2回目のフィールドワークでは、大阪市をホームタウンとしてB.LEAGUEに所属するプロバスケットボールチーム大阪エヴェッサのホームアリーナ「おおきにアリーナ舞洲」を訪問しました。チームを運営するヒューマンプランニング株式会社代表取締役の安井直樹氏のご挨拶の後、アカデ



大河学長による会場運営に関する説明

ミー代表のびわこ成蹊スポーツ大学大河学長より会場運営の仕組みについて説明が行われました。その後、大河学長による解説と共にアリーナ内の見学にご参加いただきました。1回目同様、大阪エヴェッサ対京都ハンナリーズの試合も観戦。大阪エヴェッサの勝利にてフィールドワークは無事終了しました。



アリーナ見学の様子

びわこ成蹊スポーツ大学



サッカー部(男子)の泉柊椰選手(3年・MF)が、明治安田生命J1リーグ所属のヴィッセル神戸への加入が内定し、また「2021年JFA・Jリーグ特別指定選手」として承認されました。3年生の選手が先のシーズンへの加入について内定するのは本学初となります。2021年度としては、既に2022シーズンから徳島ヴォルティス(J1)への加入が内定している森昂大選手に続いて6年連続・21人目のJリーガー誕生となります。



「SAGA久光スプリングス株式会社」とホームゲームパートナー契約を締結

びわこ成蹊スポーツ大学はバレーボールVリーグに所属する久光スプリングスの運営会社「SAGA久光スプリングス株式会社」とのホームゲームパートナー契約を締結し、2021年10月26日(火)に調印式を行いました。今後は本学女子バレーボール部の強化協力や、ホームゲーム開催時における大学のPR活動などを行います。



▲大河学長(左)とSAGA久光スプリングス株式会社 萱嶋章代表取締役社長(右)

大阪成蹊大学

全8回 大阪成蹊大学 公開講座

「未来展望セミナー2022」開催決定

3年目となる「未来展望セミナー2022」の開講が決定しました。当セミナーは日本の将来を担う社会人の皆様に、変化の激しい時代を生き抜く知恵を身に付けていただくことを目的として、大阪成蹊大学が開講している公開講座です。今年も各回に著名な講師陣を招き、現代を取り巻く様々なテーマについて講義を行います。多数のご参加をお待ちしています。



昨年の開催の様子

会場での受講
40名

オンラインでの受講
80名

応募者多数の場合は抽選

日時:2022年**5月20日(金)**より全**8回**
各回18:30~20:00(質疑応答を含む)

【主催】大阪成蹊大学
【協賛】(株)ニッセイ基礎研究所・りそな総合研究所(株)
【後援】大阪府・大阪市・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会

●お申込み期間/2022年1月12日(水)~3月31日(木)23:59まで
●参加費/全8回5万円(税込)

お申込み方法、詳細はこちら

演題・講師

- 第1回「コロナ禍と個人消費～ウィズコロナの振り返りとポストコロナの予測」
久我尚子氏 株式会社ニッセイ基礎研究所 上席研究員
- 第2回「冷静(経済合理性)と情熱(勇気ある経営判断)で100年企業を目指す」
小高芳宗氏 ホテル三日月グループ 代表取締役
- 第3回「グローバルヘルスの潮流」
森臨太郎氏 国連人口基金 アジア太平洋地域事務所 地域アドバイザー
- 第4回「中国の政治経済と米中の覇権争いについて」
高原明生氏 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授
- 第5回「日本企業のCSVの取組と今後の展望」
川村雅彦氏 サンメッセ総合研究所 所長・首席研究員、大阪成蹊大学 経営学部 客員教授
- 第6回「SDGsを主導するEU-国際基準作りでのパワーの源泉」
伊藤さゆり氏 株式会社ニッセイ基礎研究所 経済研究部 研究理事
- 第7回「AIとDXが促す組織構造と企業文化の変化」
樋口知之氏 中央大学 AI・データサイエンスセンター 所長、理工学部 教授
- 第8回「技術×サービスが生み出すビジネス創出の未来-空飛ぶクルマを例に」
中野冠氏 慶應義塾大学大学院 SDM研究所 顧問

大阪成蹊学園

第11回大阪成蹊 全国アート＆デザインコンペティション

THEME | **ワタシノセカイ** | OSAKASEIKEI ART & DESIGN COMPETITION 2021

ごあいさつ～審査を終えて～ 大阪成蹊大学 学長 武蔵野 實

今年度で第11回となる「大阪成蹊全国アート＆デザインコンペティション」の審査が行われ、各賞が決定いたしました。コロナ禍の大変な状況の中、中学生の部939点、高校生の部1,104点の合計2,043点と大変多くのご応募をいただきありがとうございました。テーマ「ワタシノセカイ」にふさわしい、自身を自由に表現する力作、秀作がそろい、本コンペティションを大いに盛り上げていただきました。ご指導いただきました中学校、高等学校の先生をはじめ、多くの方々のご尽力に厚く御礼を申し上げます。



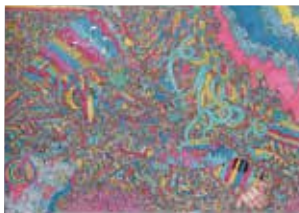
大阪成蹊芸術大賞



毎日新聞社賞



大阪成蹊芸術準大賞



A部門金賞



B部門金賞

大阪成蹊芸術大賞	摂津市立第一中学校3年	西木 さふらさん	【未詳 未公開】	
大阪成蹊芸術準大賞	松原市立松原第五中学校3年	坂田 吏音さん	【zodiac】	
毎日新聞社賞	摂津市立第二中学校3年	土居 彩万音さん	【好きに生きる】	
A部門金賞	イラストレーション・マンガ・キャラクター	茨木市立南中学校3年	松井 愛奈さん	【noisy】
B部門金賞	美術	神戸市立烏帽子中学校3年	宇戸 莓花さん	【天地創造】

大阪成蹊短期大学

テーマ Vision



グランプリ

宣真高等学校 2年
森 鈴杏さん

大阪成蹊短期大学 生活デザイン学科

2021年度 全国高校生

ファッションデザイン画

コンテスト<審査結果>



準グランプリ

石川県立工業高等学校 3年
北本 優季さん

2021年度「全国高校生ファッションデザイン画コンテスト」の審査が行われ、合計774点の応募作品の中から37点の受賞作品が決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞、優秀賞については、2022年2月11日(金・祝)に行われる生活デザイン学科卒業制作コレクションにて授賞式を行います。※上記以外の受賞作品は<https://tandai.osaka-seikei.jp/news/791>をご覧ください。



大阪成蹊芸術大賞



大阪成蹊芸術準大賞



大阪成蹊芸術準大賞



A部門金賞



B部門金賞



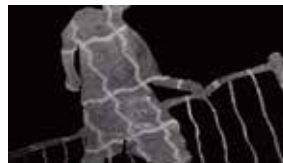
D部門金賞



C部門金賞



E部門金賞



F部門金賞

大阪成蹊芸術大賞	和歌山県立神島 高等学校2年	泰地 彩央さん	【笑門来福】
大阪成蹊芸術準大賞 (左)	大阪府立港南造形 高等学校3年	奥田 藍さん	【まいてん】
大阪成蹊芸術準大賞 (右)	関西文化芸術 高等学校3年	田中 莉多さん	【初夢】
毎日新聞社賞	夙川 高等学校2年	三尾 紗矢さん	【17～seventeen～】
A部門金賞	グラフィックデザイン 大阪府立港南造形 高等学校3年	米田 梨華さん	【Rethink-社会問題-】
B部門金賞	マンガ・キャラクター・ イラストレーション 富山第一 高等学校3年	松岡 佳音さん	【音】
C部門金賞	写真 大阪成蹊女子 高等学校3年	西山 なずなさん	【涙したその後に】
D部門金賞	インテリア・プロダクトデザイン・ ファッション・コスチューム・雑貨・工芸 大阪成蹊女子 高等学校3年	中山 凜香さん	【ふく。。。】
E部門金賞	美術(絵画・立体) 大阪府立港南造形 高等学校3年	杉坂 海香さん	【あの頃は】
F部門金賞	バーチャル メディア 盛岡中央 高等学校2年	室岡 功洋さん	【7.(i was daydreaming ...)】

一大阪成蹊短期大学附属 こみち幼稚園だより

みんなでお散歩にいったよ!

こみち幼稚園では今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止の取り組みを継続し、安全で安心できる環境を心がけながら教育活動を行ってきました。行事は縮小せざるを得ませんでしたが、幸いなことに休園することなく園児とともに楽しく毎日を過ごしながら、10月の緊急事態宣言解除後には運動会を無事開催することができました。

10月には、秋晴れのさわやかなお天気の中、各学年で園外保育を行いました。年少児は2クラスずつに分かれて幼稚園の近隣を散歩しました。近所のヤギさんを



見たり、水路で泳ぐ魚を見て「くじらがいる～」としゃいんだり…。よっぽど大きい魚だったんですね。

年中児は井高野公園に出かけました。以前出かけた大阪シティバスの車庫が見える所よりもずっと先。公園の遊具を楽しんで、幼稚園に帰ってきたとたん「おなかすいたあ～」。たっぷり遊んできたことがわかりました。

年長児は、園バスで中の島公園まで出かけました。どんぐりや落ち葉拾いをして、ペットボトルで作ったお散歩バックにはどんぐりや木の実やきれいな葉っぱがいっぱい。急角度の滑り台のある遊具では、冒険心いっぱいの子どもたちは次から次へすいすいと滑り落ちていき、とっても楽しそうでした。滑り台の事を「ジェットコースターあるんだね」と話してくれたり、幼稚園にあるどんぐりより小さな形の違うどんぐりを拾って「どんぐりにも親戚がいるのかな?」とつぶやいたり、素直なかわい一面が見られました。

